

取組の概要と成果

<低学年> 道徳科を中心とした授業づくり

- ① あらすじや登場人物をつかみやすいように、ペープサートや紙芝居、掲示用の挿絵を用意し、視覚的に理解することができた。
- ② 登場人物の気持ちをハートカードにして、教師が黒板に掲示したり児童に持たせたりすることで、気持ちが可視化され、話し合いが活発になり、心情理解が深まった。
- ③ ハートマークを色塗りすることで、授業の共感度を可視化することができ、自分の学びを振り返って文章を書くことが出来る児童が増えた。



① 掲示物による視覚化 ②ハートカードを使った会話 ③学びの振り返り

<中学年> 外国語活動を中心とした授業づくり

- ① ゲームやクイズを中心とした授業ではなく、児童が英語を使ってやりとりできるような場面を工夫した結果、児童が楽しんでコミュニケーションをするようになった。
- ② 初めから言語材料を与えるのではなく、いかに自然な場面でその英語が使えるかを考え、場の設定を工夫した。児童は、ALT や担任の話をよく聞き、初めは分からなくてもだんだんと理解し、言語材料を使って会話するうちに、自分でも使えるようになっていった。
- ③ 活動の後には、振り返りシートに言えるようになった表現や難しかったことを書かせることで、児童は学びを実感し、授業者は児童の実態の把握をすることができた。



① ペアやALT と英語であいさつ ②国高地区の地図を使った場面設定



② 児童と ALT との英語での会話



③活動の振り返り

<高学年> 外国語科を中心とした授業づくり

- ① 既習内容を使ったスモールトークを授業の初めに取り入れ，児童との会話から始めるようにした。リアクションカードを活用して，やり取りが続くような工夫をした。
- ② 自分の考えを持って活動に入ることで，コミュニケーションがより活発になり，コミュニケーション活動を楽しむ児童が増えた。
- ③ コミュニケーション活動を通して，自分の思いや考えを深めることができ，集団としての力も高まった。



① スモールトーク（福井県の名所）



②グループによるコミュニケーション活動



③全体の場での発表

Unit2 Welcome to Japan Worksheet

Talk about "I want to go to ~"

Name _____

Write Japanese OK!

<Myself>

I want to go to _____		reason (理由)
都道府県 prefectures	祭りや場所 festival, place	一言で
Nagasaki	Kunchi Festival	Cool

Group-Members>

Why?

ワークシート（自分の行きたい所）